

高源寺だより

発行所
静岡市清水区高橋2丁目7-4
TEL (366) 2410
FAX (366) 2681

坐禅会

毎月第1・第2日曜日
6時開始。
(10月～5月は
6時30分開始です)

ご詠歌(無相教会)

花園流のご詠歌で
す。毎月3回練習。
年1回大会に出場し
ます。

五日講

たのしい集いです。
読経、おはなし、など。
毎月5日の午前10時。

写経会

毎月8日9時半読経
後、般若心経を书写
し納めます。

ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/kougenji/>

静岡 高源寺 検索

おせがき

山門施餓鬼

七月五日(火)

午前十時開式

(九時半より受付)

◆会費は一名につき二千元、当日
受付でいただきます。
(一家で何名でも可)

◆初盆のお宅へは、ご供養の塔婆
を差上げます。
(法要後各自のお墓へお供え下さい)

出席申し込みは

七月一日までに

☎三六六―二四一〇

お寺まで

先祖さまを供養し

先祖さまに守られる

日本人は自分の先祖さまを大切にする国民です。ふだんは仏教やお寺に無関心な人でも、お盆やお彼岸には、お墓参りなどの先祖供養をしなければ、すつきりしません。

お盆は、正式には「盂蘭盆」と呼びます。昔のインドの言葉である「ウランバナ」を漢字にしたものです。日本では、これをさらにちぢめて「お盆」と呼んでいるのです。

「ウランバナ」は「倒懸」を意味し、「さかさまにつるされる苦しみ」と説明されています。いずれにせよ、もし先祖さまが苦しみにあつていたら、なんとか救ってあげたい、とだれもが思うでしょう。お盆の供養は、苦しんでいる霊がいるとしたら、それこそ「地獄に仏」

ではないでしょうか。お盆は先祖さまが戻ってきて、家族の平和を喜び、その供養をうけ満足する日である、とされています。



初盆をお迎えになる方へ

初盆のお宅へは、おもに七月八日(金)、九日(土)にうかがいます。都合の悪い方は、お寺へ連絡下さい。初盆は親族、縁者の方が早めにお参りされることもありますから、飾りつけは七月上旬に用意して下さい。
八月に初盆を迎える方は別にお知らせします。

お盆の棚経まわりのお知らせ

七月盆のお宅へは

八日(金)～十五(金)の八日間に廻ります。たくさんのお宅を廻りますから、できるだけ順序よくうかがいたいと思いますので、次のことを念頭に置いてお待ち下さい。

- 仏壇のお飾り、お供えなどは、いつきてもよいように。
- 棚経の時間にはカギをあけておく。
- 読経後の飲みものは不要。
- 住所変更などは早目にお寺へ知らせる。

八月盆のお宅へは

八月十三日(土)、十四日(日)、十五日(月)に廻ります。



本年の棚経について

お盆の棚経の日時が例年と変わったお宅があります。お寺の玄関に貼り出してある予定表を確認してください。

お寺で棚経

お勤めやお宅の事情などで、棚経の都合のつかない方は、前もってお申しこみ下さい。

寺にて、住職がお盆のお経を個別に読みます。その時位牌をお持ち下さい。

七月十日(日)

十三日(水)

十五日(金)

午後三時より

お願い

お墓に造花を供えている方は、ゴミ箱に入れずに自分でお持ち帰り下さい。

* 高源寺の檀徒の方の *

* 活躍を紹介 *

* その二 *

◆ 聴覚障害者への文字情報の正確な

伝達を、無償公開している

高橋西の栗田富貴代さんの長男

栗田茂明氏

聴覚障害者の意志疎通手段として知られる手話。だが障害者のすべてが手話に習熟しているわけではない。

そういった聴覚障害者のコミュニケーションを助け、手話では正確に表現しにくい専門用語などを伝える手段に「パソコン文字通訳」がある。映画の字幕のように、話し言葉をほぼ同時に画面に表示する。

この文字入力ソフトを独力で開発し、広く普及させたボランティアがいる。横浜市の会社員、栗田茂明氏(54)。自動車メーカーで次世代エンジンを研究開発する。

栗田さんは、熱心なエスパルスサポーター。エスパルスのサポーター同士がパソコン通信で交流するサークルに聴覚障害者が参加していたことをきっかけに「聴覚障害者への文字情報の正確な伝達」という切実な課題があることを知る。

以前の文字通訳の問題点を改善するソフトを考案し、さらにはインターネットを活用し、ボランティアが在宅のまま音声を入力する「遠隔通訳」も実用化した。

栗田さんは2年前、特定非営利活動法人「日本遠隔コミュニケーション支援協会」を設立。遠隔通訳のノウハウなどを全国に提供している。

自らの活動について栗田さんは、「Jリーグ観戦と同様、充実した余暇の過ごし方の一つ」と話す。ただ本業の次世代エンジニア開発に示唆を与えてくれる側面もある。「技術と人間の在り方」という視点だ。

〈日経新聞 平成22年12月12日より抜粋〉

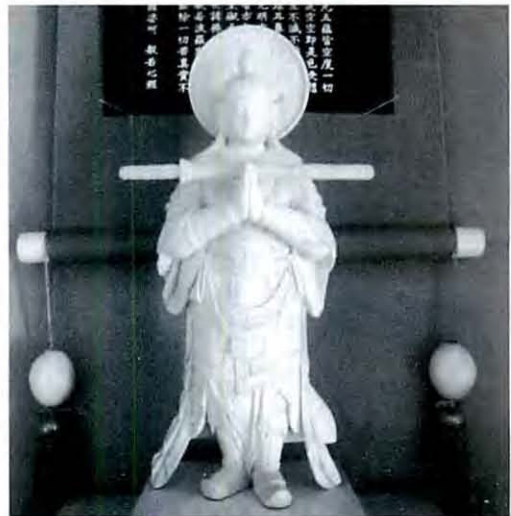


韋駄天さま

みなさんは高源寺の庫裡の玄関に仏さまがお祀りされているのをご存知でしょうか？一昨年の書院庫裡改築のときにお迎えした仏さまで「韋駄天さま」といいます。そのお姿は、よろいかぶとを身に着けた武将のようなスタイルで、合掌した両手に宝剣を捧げています。いかにも強そうで、精悍な姿をしていらつしゃいます。そしてこのお寺だけでなく多くの禅宗寺院の庫裡に、韋駄天さまの像が祀られています。

韋駄天は、もとはインドの神でスカンダといい、シヴァ神の子とされています。しかし後に、仏教の守護神となり四天王である増長天の八大將軍の一人に加えられました。

とても速く走ることを「韋駄天走り」と言います。俗説によるとお釈迦さまが亡くなって火葬したところ、足の速いことで知られる捷疾鬼（しやうしき）という鬼が、遺骨の中からお釈迦さまの歯を取って、ものすごいスピードで逃げ出したそうです。それを見た韋駄天は、たちまちのうちに追いついて取り戻



したと言う。そんなところから、足の速いことを韋駄天にたとえるようになりました。それがもともになって、修行者が誘惑にまどわされそうになったり、火事や台風、地震などの災難に遭いそうなときに、すぐさまやって来て助けてくれる、と信仰されるようになりました。

そしてお祀りされる「庫裡」は本来台所の意味。仏さまや修行僧にさし上げる食事を用意する所です。そこで、大事な食物を守ることに韋駄天さまのもう一つの大切な役目になっています。なぜかと申しますと、お釈迦さまを火葬にした後の遺骨を「舍利」（しゃり）と言います。この舍利は、さらさらと光る米粒のような形をしていて、「舍利を守ること」が韋駄天さまの仕事と考え

られるようになりました。

お寿司屋さんで、ご飯のことを「シャリ」というのはここからきています。そして、「ご馳走」という言葉も、文字の上から見ると「駆け走る」という意味になります。一生懸命駆け回ってよい食材を集め調理したものの、だから「ご馳走さま！」と言うことになります。

ですから庫裡に祀られている韋駄天さまは、毎日の生活を支える、もつとも身近な食べ物をつかさどり、いろんな災いから守ってくれる大事な仏さまということになります。

今度、お子さんやお孫さんの運動会の前に、一緒にお参りをしてみてはいかがでしょうか。

● 東日本大震災へ義援金

三月十一日に東日本大震災が発生しました。当山では、お彼岸にお参りされた檀信徒に義援金をお願いし、五万七千三百六十円が集まりました。お寺からも十万円を足して、日本赤十字社へ送金しました。

被災された多くの方々の冥福を祈り、お見舞いを申し上げます。

高源寺からのお知らせ

本年二月一日に、当山で大般若祈祷法要
が厳修されました。飯田の四ヶ寺で順番に
行っておりますので、四年ごとに廻ってき
ます。近隣寺院や法縁の寺院、二十数名で
大般若経六百巻を転読して、今年の五穀豊
穰、除災招福等を祈願しました。



ご詠歌大会に出場

五月三十一日、静岡グランシップにて、
静岡東教区奉詠大会が開催されました。
高源寺支部では、二十二名が参加し、日
頃の練習の成果を発表しました。

清掃奉仕のお願い

お盆を迎えるにあたり、七月一日
午前八時半より大掃除を予定してい
ます。本堂や会館の清掃をお願いします。
ます。

四国八十八ヶ所巡礼の旅

今秋十月十一日から十四日に、第二回の
四国八十八ヶ所巡礼の旅に出かけます。詳
細は旅行業者と相談中です。
夏ごろには募集を始め
ます。

